

40-45 μ \times 35-40 μ ; dwarf males 10-11 μ \times 30-32 μ .

採集地：北千島幌筵島鯨灣ノ濕原地ノ小沼。

採集者：岡田喜一 (5/VIII, 1931)

本種ハ雌雄異株デ nannandrous デ gynandrodrosporus デアル。又、本種ノ生卵器ハ直立的ニ生ジ、稍々扁壓サレタ丸味ヲ帶ビタ五角形ヲナシ、膜ノ表面ニ多數ノ小凹穴ヲ有シ、又、支持細胞 (suffultory cell) ノ分裂ガ基脚性デアル等ハ著シイ特徴デアル。

分布ハ可成リ廣ク亞細亞カラハ Siberia, 北米デハ Alaska, U.S.A. (Massachusetts, Illinois ノ諸州) ニ産シ歐洲デハ Holland, Ireland, Norway, Switzerland カラ發見セラレテキル。即チ、概シテ北緯 40 度以北ノ北地ニ分布シテキル種類デアル。(續ク)

靈 果 「珠 數 杏」

長野縣更級郡日新小學校 太 田 繁 則

SIGENORI OTA: Notes on the teratological stone of *Prunus ansu* KOMAR.

信州ハ杏ノ名産地デアル。價格約 8 萬圓、數量 46 萬貫、本數 7 萬本、栽培面積 300 町步、小縣郡、埴科郡、更級郡、上高井郡、上水内郡ノ所謂善光寺平ニ栽植サレ、一戸數百圓ノ收入ヲ舉グル家モ珍ラシクナイ。丁度四月二十日頃ハ杏ノ花盛デ毎年賑ハシイノデアルガ本年ハ善光寺ノ御開帳デアルカラ格別賑ハシク、花ニ埋ルル埴科郡森村ヤ上水内郡安茂里村ヘドライブスル客人ガ隨分アルコトト信ズル。

幸ヒニシテ讀者ノ皆様ガ善光寺ヘ御參詣スルコトニナリマシタラ私方ヘモ是非御立寄り下サイ。川中島驛ノスグソバデアリマス。先ヅ私ハ善光寺境内ニ存立スル珠數杏ノ木ヲ御紹介申シタイ。コノ樹ニナル杏ハ皆核ニ自然ト不思議ナ孔ガアイテキル。昭和二年四月四日、善光寺保存會委員及三色餅花勝亭主人清水勝太郎等氏ノ注意ニ依ツテ發見セラレタ。因ミニ清水勝太郎氏ハ今ハ故人、昭和九年六月十日 享年 58 歳ニシテ亡クナラレタ。(第 1 圖參照)

長野縣天然記念物調査委員小山海太郎氏ハ本樹ニツキ調査研究サレ、昭和五

年一月、長野縣史蹟名勝天然記念物調査報告第十一輯ニ初メテ記載發表サレタ。同書ニハ主トシテ善光寺境内ノ珠數杏ニ就テ記載サレテアルガ類例トシテ長野市箱清水丸山丈之助氏方ニモ有ルコトガ併記サレテ居リ、附記トシテ島根縣八束郡宍道湖畔ナル來待村天満宮ノ梅核モ亦斯様デアルコトガ記載サレテアル。

筆者ハコノ珠數杏ヲ出來ルコトナラバ遺傳ノ方面ヤ變異ノ方面ヤヲ研究シテ見タイト考ヘタガ先ヅ長野縣下ニドノ位ノ分布ヲモツカ、昭和七年八年ノ二ケ年ニ亙ツテ殆ンド戸別的ニ單身調査ノ結果其ノ分布ヲ明カニシタ。即チ昭和九年六月出版ノ長野縣史蹟名勝天然記念物調査報告第十五輯ニ掲載サレタ通りデアル。時ニ合計二十三本。

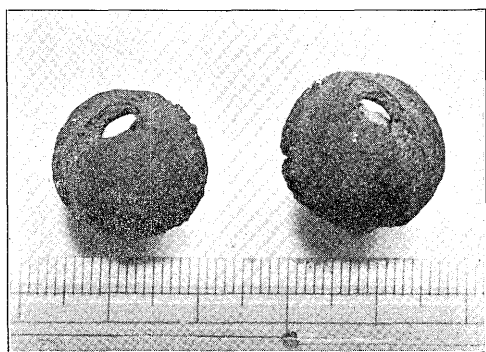
何レモ善光寺境内ノ珠數杏ノ如ク、天然自然ニ核ノ縁邊縫合線ニ近ク且頂點ニ近キ部分ニ不正形蟲喰様ヲナシ、孔ノ小サキハ直徑 1 mm. 通常直徑 2 mm. 大ナルハ長徑 4 mm. ニ達シ、絲又ハ針線デ通シ綴ルコトガ出來ル。然シ果肉ヲ割ツタ許リニハ果肉ノ餘片ノ爲ニ一見不明デアルガ小楊子針線ノ類デ突クコトニヨツテ直チニ孔ノ存在ガ判明

スル。コノ孔ヲ貫キ綴ツテ念珠トスルモ決シテ仁ヲ損スルコトハ無イ。又、孔カラ仁ヲ窺視シ得ル。普通一般ノ杏ノ核ハ、是ヲ平面上ニ置ク時、其重心ハ中心ニアルガ如クナルニ比シ、珠數杏ノ核ハ其孔ノアル方ニ重心ガ偏在シ、常ニ此方向ニ傾ク。孔ノ所在箇所ハ常ニ一定デアツテツノ異例モ無イ。(第2圖參照)

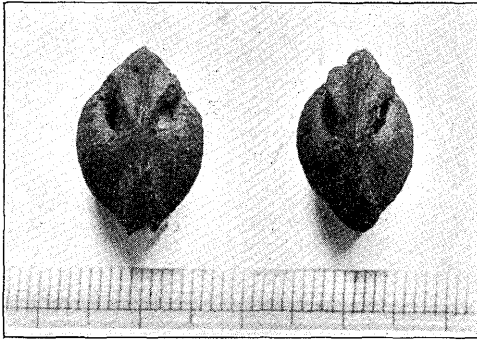
第2圖第3圖ニ用ヒタ標品ハ長野縣更級郡鹽崎村長谷宮崎甚次郎氏方ノモノ



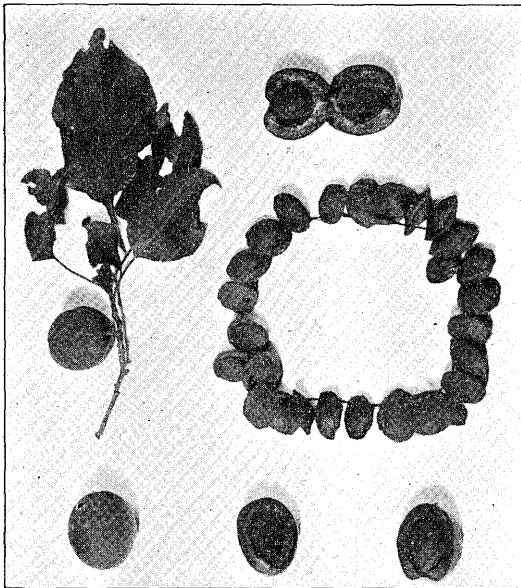
第1圖 珠數杏發見者清水勝太郎氏肖像



第2圖 珠數杏ノ核。孔ガ核ヲ明瞭ニ突キ通レルヲ示ス。寫眞實物大昭和七年春筆者撮影(昭和六年產ノモノ)



第3圖 珠數杏ノ核(畸形原圖)核ヲ側面ヨリ見
テ兩孔ヲ示ス 筆者 寫眞 實物大
昭和七年春撮影(昭和六年產ノモノ)



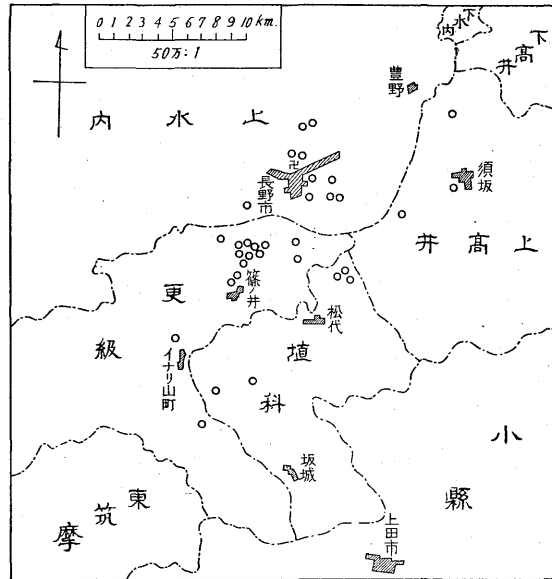
第4圖 珠數杏 筆者寫眞(×1/3)

デ珠數杏トシテ最モ標準型ヲ爲
スモノデアル。他樹ノ核ノ大サ
ハ種々デアリ形モ或ハ膨大シ或
ハ扁平ニ傾イテキルモノ等種々
アル。中ニハ長野市芹田北高田
海野惣作氏方ノモノノ如キ核ノ
孔ハ片側ニ明クノミデ完全ナ貫
通孔ヲ有シナイ異例モアル。シ
カモ一樹中、南側ノ枝ニ結實セ
ル杏ハ所謂珠數杏デ孔ガアルケ
レドモ北側ノ枝ニ結實シタ杏ハ
普通品デアル。完全ナ珠數杏
ノミデ綴レバ第4圖ノ如クナル。

珠數杏ハ若木時代ニ完全ナ
珠數杏デアツタモノモ老大木
ニナルニ從ツテ孔ヲ閉ヂ全ク
普通ノ杏ニ變化スル場合モアル。
カ、ル場合ハ珠數杏ノ痕
跡トシテ核ノ該箇所ニ必ず鑿
ヲ存示スル。シカシテ従前ニ
増シ、美味トナルガ通例デア
ル。今日、筆者ノ手許ニ判ツ
テキル珠數杏ハ 33 本アルガ
可笑シキコトニ、年ニ依リ100
%ニイカナイコトガアル。氣
候ニ支配サルルラシイ。即チ
昭和十年ニハ珠數杏ガ甚ダ不

成績デ、或モノハ全ク孔ヲ閉ヂ、又或モノハ一樹中孔アルモノガ一割乃至三割
トナツタモノガアル。又、連年一樹中僅カニ一割カ二割位ノ有孔畸形核ヲ混ジ
テ產スルモノモアル。珠數杏ハ一般ニ在來種ヤ實生ニ多イ。

故ニ果實ハ良品ノミトハ言ハレヌ。果形、果色、肉質、甘酸ナドカラ言ツテ
甚ダ良イモノモアルガ一般ニ珠數杏ハ品質ガヨクナイ。タダ珠數杏ト言フガ珍

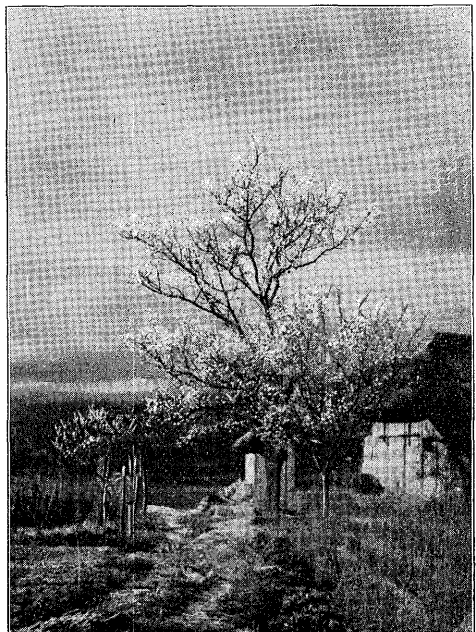


第5圖 珠數杏分布圖 ○印珠數杏 昭和十一年三月現在

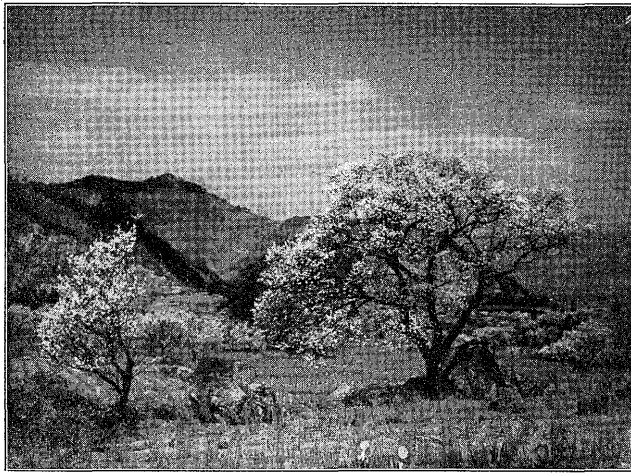
ラシイノデアル。ソシテ筆者ノ調査ニ依ツテコノ稀品ガ可成澤山發見サレタノデ(第5圖參照)獎メテ土産品靈果珠數杏トナシタノデアアル。遠ク全國ヘ向ケルダケノ品ガ無イノデ、目下ノ所長野商品陳列館ニ納メ漸ク昨夏カラ發賣ノ途ニツイタガ筆者ノ研究ガ産業化シタコトハ嬉シイ。

長野縣史蹟名勝天然記念物調査報告第十一輯ニ於テ珠數杏ハ假稱トナツテキルガ、斯様ニ商品化シ一般化サレタカラニハ自ラ公認本名トナル譯デアアル。

珠數杏ハ樹振ヤ外觀デハ更ニ普通ノ杏ト區別出來ナイ。シカシ、花ノ咲ケルヲ精檢スルナラバ花瓣



第6圖 珠數杏ノ花盛(其一)



第 7 圖 珠數杏ノ花盛 (其二)

ノ形狀ヤ其數ニ異
狀ノアルモノガ多
イ。又一花中ニ 2
個ノ雌蕊ヲ有シ双
果ヲ爲スモノナド
モ稀ニアル。更級
郡川中島村鹽入氏
方ノモノナドハ其
例ニ當ル。

雜 錄 Miscellaneous

蓬萊島ニ地衣ヲ尋ネテ (其二)

佐 藤 正 己

南端鷺巒鼻ノ見物ヲ了ヘルト、一般遊覽客ノ公式的ナ四重溪溫泉一泊ノ行程ヲ省略シテ相當ノ無理ヲシテ臺南マデ引返シタ。ソレハ臺南市デ大キナ病院ヲ經營シテ居ラレル同郷ノ庄司氏ノ御一家ガ心カラナル歡迎ノ支度ヲシテ待つテ居ラレタカラデアル。臺南デノ一夜ハ私事ニ屬スルカラ詳シク書クコトハヤメテオク。

翌二十日ハ流石ニ連日ノ疲レデ何トナク懶イ氣持ダツタガ、庄司氏ノ御好意デ用意サレタ自動車デ臺南市中ト郊外ノ安平港ノ見物ニ出掛ケタラスツカリ元氣ヲ取戻スコトガ出來タ。臺南及ビ安平ハ臺灣トシテハ最初ニ開ケタ土地ダケアツテ臺灣古來ノ文化ノ跡ヲ偲ブニ最モヨイ所デアル。然シソレモ植物ニハ大シテ關係ノナイコトダカラ、此處デハソノ巡見記ヲ割愛シテ先ニ進マナケレバナラナイ。

サテ私ハイヨイヨ阿里山登山ノ途ニ就クコトニナツタ。今回ノ臺灣採集旅行デ最モ期待